

健保連八十年の歩み

健保連八十年の歩み



令和4年度 健康保険組合全国大会
—健康保険法制定100年—
これからも健康を支え、皆保険を守る
健保組合であるために



健康寿命の延伸に向けた保健事業の更なる推進

オンライン資格確認などICT化の推進による
医療の効率化・質の向上



国民が身近で信頼できる「かかりつけ医」の推進

現役世代の負担軽減、
全世代で支え合う制度への転換



令和4年度の全国大会は、「—健康保険法制定100年—これからも健康を支え、皆保険を守る健保組合であるために」をテーマに4本のスローガンを掲げ、全健保組合の総意として決議を採択した。新型コロナウイルス感染対策の観点から会場の参加人数を縮小するなどの対面形式に加え、オンライン視聴も可能なハイブリッド形式で実施した。



宮永俊一会長は令和4年度健保組合全国大会で基調演説し、急増する高齢者医療費を現役世代だけで支えていくことは不可能と指摘したうえで、「負担能力に応じ皆が支え合う全世代型社会保障制度への転換を強力に進めていく必要がある」と訴えた（令和4年10月18日）。



令和4年度健保組合全国大会が終了した後、宮永俊一会長、佐野雅宏副会長など代表者が要請行動を展開。写真は宮永会長らが自民党・茂木敏充幹事長を訪ね、大会決議への理解を求め、健保連の主張実現へ協力を要請した（令和4年10月18日）。



白川修二副会長は参院厚生労働委員会に参考人として出席し、後期高齢者支援金の全面総報酬割導入を含む医療保険制度改革関連法案に意見陳述。「評価できる部分も多い」と述べるとともに、高齢者医療費の負担構造改革の必要性を強調した（平成27年5月22日）。



保険者、経済団体、自治体、医療関係団体等の民間組織で構成する「日本健康会議」が発足式を開催。実行委員を代表して大塚陸毅会長が同会議の活動方針となる「健康なまち・職場づくり宣言2020」8項目を宣言した（平成27年7月10日）。



後期高齢者の2割負担導入などを含む医療保険制度改革関連法案審議の衆院厚生労働委員会参考人質疑が行われ、佐野雅宏副会長が出席し、2割負担の早期かつ着実な実施を要請した（令和3年4月20日）。



健保組合と加入者である現役世代の意見を踏まえて、必要な対策を検討することを目的に自民党の「国民皆保険を守る国会議員連盟」が令和2年8月に発足。写真は議連の第6回総会。健保組合への財政支援などを柱とする議連としての提言を議論した（令和4年10月17日）。



佐野雅宏副会長は首相官邸に加藤勝信官房長官を訪ね、新型コロナウイルスワクチンの職域接種に向けて、ワクチンの安定供給など課題解決に向けた要請書を提出。政府側から協力要請を受けて職域接種に積極的に協力する考えを表明した（令和3年5月31日）。



後期高齢者の原則2割負担などを柱とする「今、必要な医療保険の重点施策―2022年危機に向けた健保連の提案―」をまとめ、佐野雅宏副会長が会見で発表した。団塊世代が後期高齢者に入り始めて拠出金負担が急増する2022年に焦点を当てた（令和元年9月9日）。



医療保険者関係6団体は、令和2年度診療報酬改定に関する共同の要請書を加藤勝信厚生労働大臣に提出。国民皆保険堅持の観点から「診療報酬はマイナス改定とすべき」と主張した。写真は、要請後の記者会見で6団体を代表して見解を述べる幸野庄司理事（令和元年11月27日）。

健保連は記者会見で健保組合の令和3年度決算見込みを発表。経常収支差引額は平成25年度以来、8年ぶりの赤字に転じた。拠出金等が保険料収入を大きく上回るペースで伸びたことが要因。佐野雅宏副会長は財政悪化に強い危機感を示した（令和4年10月6日）。



健保連は記者会見で「かかりつけ医」の制度・環境の整備について」と題する議論の整理を発表。河本滋史専務理事は「国民・患者の選択が大前提で、強制や割り当てではない。国民・患者を支援するのが保険者の役割」との基本認識を示した（令和4年11月8日）。



河本滋史専務理事は日本記者クラブ主催の「かかりつけ医を考える」と題するセミナーで講演。かかりつけ医機能に関する医療機関の質の担保などの制度整備について、健保連がめざす仕組みに近づけるための主張を展開する考えを示した（令和4年12月19日）。





△第12代会長（平成26年4月～令和2年4月）
大塚 陸 毅 氏

大塚氏は、昭和40年に日本国有鉄道に入社。平成2年6月東日本旅客鉄道取締役、平成4年6月同社常務取締役、平成9年6月代表取締役副社長、平成12年6月代表取締役社長、平成18年4月取締役会長、平成24年4月相談役に就任。健保連会長に就任した平成26年4月に高齢者医療の負担構造改革など健保連の主張を医療保険制度改革に反映することを目的に、常任理事会に要求実現対策本部を設置。対策本部の本部長も務め、組織一丸となった活動を展開した。健保組合の主張を世論に強くアピールするための広報活動も重視し、全世代型社会保障検討会議が令和元年12月にまとめた中間報告では後期高齢者の窓口負担2割導入の方針が示されるなどの成果を得た。令和2年4月、健保連顧問。



△第11代会長（平成20年4月～平成26年4月）
平井 克 彦 氏

平井氏は、昭和37年に東洋レーヨン（現・東レ株式会社）に入社。平成5年6月同社取締役、平成8年6月専務取締役、平成9年6月代表取締役社長、平成14年6月取締役副会長、平成16年6月相談役に就任。健保連会長就任後、保険者機能の発揮を通じた健保組合制度の維持と一層の向上・発展を重視するとともに、高齢者医療制度に対する支援金・納付金など過大な負担を問題視し、健保組合財政を圧迫させる負担増の施策に一貫して反対する姿勢を示した。健保連の会長として、健保組合の団結強化のため、各地の地域懇談会で健保組合の考えを聞くなど精力的に活動し、健保連・健保組合の主張実現に向けた政策活動に尽力した。平成26年4月、健保連顧問。



△第13代会長（令和2年4月～現在）
宮永俊一氏

宮永氏は、昭和47年に三菱重工業に入社。平成23年4月同社取締役、副社長執行役員、社長室長、平成25年4月取締役社長、平成26年4月取締役社長、CEO、平成31年4月取締役会長に就任。令和2年4月に健保連会長に就任し、真に現役世代の負担軽減につながり、健保組合の将来展望が見通せる制度改革に全力で取り組む決意を表明した。全世代型社会保障制度の構築に向けて、後期高齢者の窓口負担2割導入の実現など、高齢者医療の負担構造をはじめとする医療保険制度の改革活動を推進。こうした活動が令和5年の制度改革において、健保組合に対する円滑化等補助金の拡充、財政支援の制度化につながる原動力となった。国民皆保険制度の維持・発展のための公平で持続性ある制度構築と保険者の中核である健保組合の保険者機能の強化・充実につながる改革実現へ陣頭指揮を執っている。

※平成25年度から令和4年度における歴代会長。



健保連本部ビルの施設の老朽化などに伴い、健保連本部所有地（東京都港区南青山）を令和4年12月に売却した。写真は売却前の所有地に建つ健保連本部ビル全景（地下1階、地上5階）。旧所有地に建設されるビル1階の一部を政策実現のための健保連所有のミーティングルームとして活用する。



健保連新本部ビル（東京都渋谷区千駄ヶ谷）は令和6年1月着工、7年秋ごろの竣工予定。イラストは完成予定図（地下1階、地上5階）。



健保連直営として急性期ならびに予防（健診センター）を中心に医療を提供した大阪中央病院（大阪市北区梅田）。令和2年7月1日に医療法人伯鳳会に事業譲渡され、再出発した。

刊行にあたって

健保連は昭和18年に公法人として設立され、令和5年で80年の節目を迎えました。これまで、年史については、健保連が公法人として発足して以来、ほぼ10年ごとに刊行してきております。

今回の「健保連八十年の歩み」は、平成25年度から令和4年度までの10年間を中心に日本の医療保険制度の動きと、同制度の動向と深く関わりをもつ健保連の諸活動をまとめたものです。また、健康保険法が大正11年に制定されてから令和4年で100年を迎えたことを鑑み、本年史では100年の軌跡とその後の医療・医療保険制度の展望も独立したテーマとして取り上げました。

この10年間において、まずは社会保障・税一体改革に関連する施策が順次進められてきました。消費税率の段階的な引き上げを通じて社会保障の充実が図られる一方で、医療保険制度改革では被用者保険間の後期高齢者支援金の全面総報酬割が導入されるなど、健保組合は全体として大幅な負担増を課せられることとなり、現在も高齢者医療への過重な拠出金が財政をひっ迫させる大きな要因となっております。

令和3年6月、「全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」が成立し、一定所得以上の後期高齢者に2割負担が導入されることとなりました。この法律は、負担は現役世代中心というこれまでの社会保障の構造を見直す転換点となり、高齢者も含めて全ての世代が支え合う「全世代型社会保障」の構築へと一歩を踏み出したといえます。

さらに、令和5年5月に成立した「全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律」は、後期高齢者の保険料負担割合の見直しや健保組合への財政支援の制度化などを含み、現役世代の負担軽減という改革の趣旨は継続されています。65歳以上の高齢者人口がピークに達する2040年に向けても、こうした改革の流れを止めるわけにはいきません。

本年史の構成は、「解説篇」「資料篇」「健保連の組織及び事業活動」「健康保険法100年の軌跡と展望」の4部構成及び年表を付しております。「解説篇」では医療保険制度改革などを中心に健保連をめぐる諸情勢、政治の動きなどを記述いたしました。「資料篇」は関連する資料を掲載、「健保連の組織及び事業活動」では10年間の主だった活動などを取り上げました。「健康保険法100年の軌跡と展望」では健康保険法制定にはじまる日本の医療保険制度の軌跡について、3つの時期に大別して各時期のポイントを論述しております。年表は10年間の社会保障関係と健保連をめぐる主な動きとともに、健康保険法制定前から制定後100年の変遷を掲載しております。「解説篇」は日本経済新聞社編集委員の大林尚氏に、「健康保険法100年の軌跡と展望」は国際医療福祉大学大学院教授の島崎謙治氏にご執筆いただきました。

最後になりますが、健保組合の関係者をはじめとする多くの方々から本年史を医療保険の関連資料のひとつとして、将来に向けた健保組合運営の参考資料として、お役に立てただけであれば幸いです。

目次

刊行にあたって

第1部 解説篇

日本経済新聞社編集委員 大林尚

| | | |
|-----|-----------------------|-----|
| 第1章 | 社会保障・税一体改革 | 3 |
| 第2章 | 全世代型社会保障改革の実像 | 39 |
| 第3章 | 骨太方針にみる社会保障改革と健保連の対応 | 73 |
| 第4章 | 診療報酬改定の経緯 | 88 |
| 第5章 | データヘルス計画による効果的な保健事業 | 100 |
| 第6章 | 医療法改正を振り返る | 104 |
| 第7章 | 給付拡大する介護保険 | 113 |
| 第8章 | コロナ禍の重圧のなかで健保連が果たした役割 | 123 |
| 第9章 | 医療DXの基盤整備 | 141 |
| 参考 | 大林尚氏ご執筆の日本経済新聞記事 | 154 |

第2部 資料篇

I 平成25年度（2013年度）

| | | |
|-----|-------------------------------|-----|
| 資料1 | 健康保険法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議（抜粋） | 166 |
| | （参議院厚生労働委員会 平成25年5月23日） | |

| | | |
|-----|---|-----|
| 資料2 | 健康保険法等の一部を改正する法律の概要（平成25年5月24日成立） | 166 |
| 資料3 | 健康保険法等一部改正法の成立にあたって（会長コメント）（健保連 平成25年5月24日） | 166 |
| 資料4 | 社会保障制度改革国民会議の議論について | 166 |

（被用者保険関係5団体 平成25年5月24日）

| | | |
|-----|------------------------------------|-----|
| 資料5 | 「データヘルス計画」の推進に関する政府の方針（平成25年6月14日） | 167 |
|-----|------------------------------------|-----|

| | | |
|-----|---------------------------------|-----|
| 資料6 | 医療提供体制に関する健保連の見解（健保連 平成25年7月4日） | 168 |
|-----|---------------------------------|-----|

| | | |
|-----|---|-----|
| 資料7 | 社会保障制度改革国民会議報告書（抜粋）（社会保障制度改革国民会議 平成25年8月6日） | 171 |
|-----|---|-----|

| | | |
|-----|---|-----|
| 資料8 | 社会保障制度改革国民会議の報告書について（会長コメント）（健保連 平成25年8月7日） | 174 |
|-----|---|-----|

| | | |
|-----|--|-----|
| 資料9 | 社会保障制度改革推進法第4条の規定に基づく「法制上の措置」の骨子について（抜粋） | 174 |
|-----|--|-----|

（閣議決定 平成25年8月21日）

| | | |
|------|---|-----|
| 資料10 | 社会保障制度改革に対する健保連の考え方について（健保連 平成25年9月12日） | 177 |
|------|---|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 資料11 | 平成26年度診療報酬改定に関する要請（医療保険者関係6団体 平成25年11月15日） | 179 |
|------|--|-----|

| | | |
|------|------------------------------------|-----|
| 資料12 | 持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律の概要 | 179 |
|------|------------------------------------|-----|

（平成25年12月5日成立）

| | | |
|------|---------------------------------------|-----|
| 資料13 | 平成26年度政府予算案の閣議決定について（健保連 平成25年12月25日） | 180 |
|------|---------------------------------------|-----|

II 平成26年度（2014年度）

| | | |
|------|--|-----|
| 資料14 | 主張・要求実現のための体制づくりについて（要求実現対策本部及び特別委員会の設置） | 180 |
|------|--|-----|

（健保連 平成26年4月15日）

| | | |
|------|-------------------------------|-----|
| 資料15 | 医療保険制度改革に関する被用者保険関係5団体の要望について | 182 |
|------|-------------------------------|-----|

（被用者保険関係5団体 平成26年5月19日）

| | | |
|------|----------------------------------|-----|
| 資料16 | 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の | 183 |
|------|----------------------------------|-----|

整備等に関する法律の概要（平成26年6月18日成立）

| | | |
|------|--------------------------------|-----|
| 資料17 | 健保連の具体的な主張について（健保連 平成26年10月2日） | 185 |
|------|--------------------------------|-----|

| | | |
|------|---------------------------------------|-----|
| 資料18 | 医療保険制度改革骨子（社会保障制度改革推進本部決定 平成27年1月13日） | 185 |
|------|---------------------------------------|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 資料19 | 医療保険制度改革案の決定にあたって（会長コメント）（健保連 平成27年1月15日） | 187 |
| 資料20 | 医療保険制度改革案に対する評価と今後の主張点について（抜粋） （健保連 平成27年2月12日） | 188 |

| | | |
|------|---|-----|
| 資料21 | 医療保険制度改革案に対する被用者保険関係5団体の意見 （被用者保険関係5団体 平成27年2月20日） | 189 |
|------|---|-----|

III 平成27年度（2015年度）

| | | |
|------|---|-----|
| 資料22 | 医療提供体制改革に関する要請（健保連・協会けんぽ 平成27年5月7日） | 191 |
| 資料23 | 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する 法律案に対する附帯決議（抜粋）（参議院厚生労働委員会 平成27年5月26日） | 192 |

| | | |
|------|--|-----|
| 資料24 | 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の概要 （平成27年5月27日成立） | 192 |
|------|--|-----|

| | | |
|------|---|-----|
| 資料25 | 医療保険制度改革関連法の成立にあたって（会長コメント）（健保連 平成27年5月27日） | 194 |
|------|---|-----|

| | | |
|------|--|-----|
| 資料26 | 「骨太方針2015」の策定に向けた被用者保険関係5団体の意見 （被用者保険関係5団体 平成27年6月5日） | 194 |
| 資料27 | 平成28年度診療報酬改定に関する要請（医療保険者関係6団体 平成27年11月18日） | 195 |

| | | |
|------|------------------------------------|-----|
| 資料28 | 平成28年度診療報酬の改定について（健保連 平成27年12月21日） | 196 |
|------|------------------------------------|-----|

IV 平成28年度（2016年度）

| | | |
|------|---|-----|
| 資料29 | 平成28年熊本地震の地震対策に関する緊急要望書（健保連・協会けんぽ 平成28年4月28日） | 198 |
|------|---|-----|

| | | |
|------|---|-----|
| 資料30 | 今後の主張について（消費税率引き上げ再延期方針を受けて）（健保連 平成28年7月7日） | 198 |
| 資料31 | 医療提供体制の諸課題に関する健保連の考え方（健保連 平成28年10月17日） | 199 |

| | | |
|------|--------------------------------|-----|
| 資料32 | 大臣折衝事項（抜粋）（平成28年12月19日） | 203 |
| 資料33 | 薬価制度の抜本改革に向けた基本方針（平成28年12月20日） | 206 |

| | | |
|------|---|-----|
| 資料34 | 医療保険・介護保険制度改革案の決定にあたって（会長コメント） （健保連 平成28年12月26日） | 207 |
|------|---|-----|

V 平成29年度（2017年度）

資料35 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律のポイント

（平成29年5月26日成立）

資料36 介護保険法等改正法の成立にあたって（会長コメント）（健保連 平成29年5月29日）

資料37 支払基金業務効率化・高度化計画

（厚生労働省・社会保険診療報酬支払基金 平成29年7月4日）

資料38 2025年度に向けた医療・医療保険制度改革について（抜粋）

（健保連 平成29年9月25日）

資料39 平成30年度診療報酬改定に関する要請（医療保険者関係6団体 平成29年11月22日）

資料40 平成30年度診療報酬・介護報酬の改定について（健保連 平成29年12月19日）

VI 平成30年度（2018年度）

資料41 「骨太方針2018」の策定に向けた被用者保険関係5団体の意見

（被用者保険関係5団体 平成30年5月25日）

資料42 「骨太方針2018」の閣議決定にあたって（副会長コメント）

（健保連 平成30年6月18日）

資料43 2019年度政府予算案と「新経済・財政再生計画改革工程表2018」の決定について

（副会長コメント）（健保連 平成30年12月25日）

資料44 『2022年危機』に向けた健保連の取組み（健保連 平成31年2月8日）

VII 令和元年度（2019年度）

資料45 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する

法律案に対する附帯決議（抜粋）（参議院厚生労働委員会 令和元年5月14日）

資料46 医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する

法律の概要（令和元年5月15日成立）

資料47 「保険給付範囲の見直し」に向けた意見（健保連・協会けんぽ 令和元年5月15日）

(健保連 令和2年12月15日) 251

IX 令和3年度(2021年度)

資料62 健康保険組合におけるテレワークについて(厚生労働省保険局保険課 令和3年4月26日) 253

資料63 新型コロナウイルスワクチンの職域接種に関して(要請)(健保連 令和3年5月31日) 254

資料64 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する
法律案に対する附帯決議(抜粋)(参議院厚生労働委員会 令和3年6月3日) 254

資料65 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の概要
(令和3年6月4日成立) 255

(健保連 令和3年6月4日) 255

資料66 医療保険制度改革関連法の成立にあたって(会長コメント)(健保連 令和3年6月4日) 256

資料67 骨太の方針に対する要望(健保連 令和3年6月8日) 256

資料68 『安全・安心な医療と国民皆保険制度の維持に向けて』―健保組合・健保連の提言―
(健保連 令和3年10月19日) 257

(健保連 令和3年10月19日) 257

資料69 令和4年度診療報酬改定に関する要請(医療保険者関係6団体 令和3年11月24日) 259

資料70 令和4年度政府予算編成及び診療報酬・薬価等改定への見解(健保連 令和3年12月22日) 260

X 令和4年度(2022年度)

資料71 「かかりつけ医」の制度・環境の整備について(議論の整理)(健保連 令和4年11月8日) 262

資料72 医療保険制度改革に向けた被用者保険関係5団体の意見
(被用者保険関係5団体 令和4年12月1日) 263

(健保連 令和4年12月1日) 263

資料73 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する
法律の概要(抜粋)(令和4年12月2日成立) 264

(健保連 令和4年12月2日) 264

資料74 全世代型社会保障構築会議報告書(抜粋)(全世代型社会保障構築会議 令和4年12月16日) 265

資料75 全世代型社会保障の構築に向けた医療保険制度改革等について(会長コメント)
(健保連 令和4年12月21日) 273

(健保連 令和4年12月21日) 273

資料76 全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する

第3部 健保連の組織及び事業活動

| | |
|---------------------------|-----|
| Ⅰ 健保連の組織…………… | 277 |
| Ⅱ 健保連の事業活動…………… | 279 |
| 歴代の役員等…………… | 323 |
| 主な各種関係審議会等における本会の代表者…………… | 328 |
| 健康保険組合設立、合併、解散状況一覧…………… | 329 |

第4部 健康保険法100年の軌跡と展望 国際医療福祉大学大学院教授 島崎 謙治

| | |
|-----------------------------|-----|
| 第1章 序論―本稿の目的および構成…………… | 339 |
| 第2章 軌跡―基盤形成期…………… | 340 |
| 第3章 軌跡―確立・拡充期…………… | 348 |
| 第4章 軌跡―見直し・改革期…………… | 356 |
| 第5章 軌跡―論点と考察…………… | 365 |
| 第6章 展望―社会経済の変容と制約条件…………… | 370 |
| 第7章 展望―医療提供体制をめぐる課題と改革…………… | 374 |
| 第8章 展望―医療保険制度の課題と改革…………… | 380 |
| 第9章 結論…………… | 385 |

年表

| | |
|--------------------------------------|-----|
| 平成25(2013)～令和4(2022)年度(社会保険関係／健保連関係) | 389 |
| 健康保険法制定から100年(制定前も含む) | 419 |

あとがき